

中国人材育成協力第1回オンラインワークショップを開催

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、経済産業省の委託を受けて、中国向け事業を実施しています。今年度主要テーマは、公共施設（大学・病院）の省エネとしていて、2020年11月24日～25日に、中国のカウンターパートであるNECC（中国国家節能中心）とともに、大学・病院分野を対象とし、中国の大学（大学病院を含む）の省エネ推進部門66名、日中の省エネ関係者、専門家が参加するオンラインワークショップを開催して、省エネ推進を図りました。



日本側講演会場及び講演者

中国側挨拶/上と政策説明/下（online）

ECCJでは経済産業省の委託を受けて2006年から中国と日本との二国間で省エネ推進の中核となる省エネ法策定に向けた情報提供、中国における省エネ推進体制の整備に関する人材育成支援、エネルギー管理者育成支援などの協力事業を実施してきています。現在はニーズが高い特定分野を選定して省エネ普及促進のためのセミナー、ワークショップ開催などによる協力と交流を実施し、今年度の事業では中国での関心が高い公共施設（大学・病院）を対象とした省エネ普及を中心テーマとしています。

今回のワークショップはオンラインで実施し、省エネ促進のための次の内容で構成しています。

- (1) 病院の長期的な省エネの有力手段であるZEBの政策と取組：政策的な推進課題であるZEBの概念と基準、建築の基準などの省エネ政策面を説明するとともに、ZEBコンサルタントの視点からZEB化の具体的なポイントを特に病院をテーマに解説し、省エネ推進への理解を深めています。
- (2) 効率的な空調、エネルギー供給とコージェネ：空調の最適化とそのためシミュレーション、病院の熱供給の効率化の有力手段であるコージェネの概念と病院における実例などについて、設備の観点及びコージェネの体系の観点から解説をし理解を深めました。
- (3) 政策的取組：大学、病院に関する日本の政策的取組を説明し、この分野の省エネの全体像を提供しました。併せて大学における省エネ推進について中国側からも政策方針の説明がなされ、参加者の認識共有を図りました。
- (4) 大学の省エネの実践とESCOの活用：大学の省エネの方針、基盤、方法、技術、実例などを詳細に説明し、多くの中国の参加者による具体的推進に対する情報提供の要請に答えています。本件については実践の観点から参加者から非常に多くの質問が出されました。

中国との協力におけるオンラインでの規模の大きいワークショップは今回は初めてですが、質問を介して有意義な促進活動となっています。本年度、大学・病院のテーマでの活動の継続を予定しています。